

県直営による公の施設の管理運営状況

施設の名称	群馬県立自然史博物館
所在地	富岡市上黒岩1674-1
所管部局・課	地域創生部 文化振興課

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

社会教育法、博物館法、群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例

2 施設の役割

(1) 設置目的 自然の生い立ちや郷土の豊かな自然環境に関する県民の理解を深め、併せて県民の文化活動を援助し、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。 (2)設置当初の状況 平成8年4月に社会教育施設として設置した。 (3) 施設を取り巻く現状 全国的に観覧者数が伸び悩んでいる中で、年間の観覧者数は、開館以来、概ね16万人前後で推移してきたが、開館20周年を迎えた平成28年度には212,022人の観覧者があり、平成30年度には過去最高の220,039人を記録した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、84,794人まで減少したが、令和3年度には129,301人、令和4年度には178,995人まで回復し、令和5年度は人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに関する企画展を開催したため291,128人となった。 本施設は、富岡市立もみじ平総合公園内に位置し、公園内には市立の美術館、体育館等が設置されている。 また、本施設には、附帯ホール(かぶら文化ホール)が併設されており、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、富岡市が指定管理者となっている。
--

3 施設の概要

設置年月日	平成8年4月1日(開館10月22日)
敷地面積(所有者)	18120.8平方メートル(富岡市)
主な施設(床面積、階数等)	延べ床面積12122.38平方メートル、地上2階一部3階 地下1階建
建設費	10,509,920千円(内展示工事費2,350,984千円) (かぶら文化ホールを含む)
備考	

◇入園料・利用料等 (円) ◇利用時間(休館日)

区分	金額	9:30～17:00(入館は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) 年末年始
一般	510、団体410	
大学生・高校生	300、団体240	
中学生以下	無料	
障害者・介護者	無料	

4 施設における実施事業

- 博物館展示
常設展示、企画展示
- 教育普及事業
 - ・企画展・・・記念講演会、ワークショップ
 - ・子ども向け・・・紙芝居、ビデオ上映会、サイエンス・サタデー、ミュージアムスクール、高校生学芸員
 - ・大人向け・・・自然史講座、大人の自然史倶楽部
 - ・その他・・・ファミリー自然観察会、天体観望会、バックヤードツアー、移動博物館、ミュージアムナイトツアー、博物館の日イベント
 - ・学校向け・・・館内授業、出前授業、教育用資料貸出、博物館実習、職場体験、教員のための博物館の日
- 収集・保管
- 調査研究

5 管理運営コストの状況

施設の管理運営に係る収支 ※施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記載

(千円)

区 分	5年度(決算額)	4年度(決算額)	3年度(決算額)	2年度(決算額)	元年度(決算額)	H30年度(決算額)	H29年度(決算額)
歳 入(①)	123,478	58,310	41,866	25,240	55,536	60,739	56,441
使用料	121,759	56,721	40,198	23,512	53,963	58,795	55,163
雑入(文化振興課)	1,719	1,589	1,668	1,728	1,573	1,944	1,278
歳 出(②)	545,545	505,883	452,573	419,768	469,957	512,592	474,714
常勤職員	152,034	147,306	145,850	147,447	148,460	154,992	157,195
非常勤職員	24,123	19,676	21,400	21,678	20,479	50,566	20,449
管理運営費	293,972	273,334	227,426	204,380	212,585	211,616	213,562
事業費	75,416	65,567	57,897	46,263	88,433	95,418	83,508
歳入・歳出の差額(①－②)	-422,067	-447,573	-410,707	-394,528	-414,421	-451,853	-418,273
歳入・歳出の主な増減理由	R5歳入については、企画展が好評で、観覧者が大幅に増加したため増額となり、歳出については、物価高騰、人件費増額などにより、増額となった。						

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	H30年度	H29年度
常勤職員	17	17	17	17	17	18	18
非常勤職員	10	10	10	9	9	8	9
合 計	27	27	27	26	26	26	27

7 施設利用の状況
年度別の利用者数

区 分		5年度※1	4年度	3年度	2年度	元年度	H30年度	H29年度
年間利用者総数(人)		291,128	208,585	148,438	107,789	267,860	284,754	268,962
	有料利用者数(人)	140,576	81,933	58,636	40,438	89,239	96,679	89,778
	無料利用者数(人)	150,552	126,652	89,802	67,351	178,621	188,075	179,184
目標利用者数(人)※2		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	235,000
施設稼働率(%)※3		—	—	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)		—						
利用者の主な増減理由		人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに関係した企画展を開催したため、利用者数が大幅に増加となった。						

※1 令和5年度末時点の利用者数

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	当館は、群馬県内の自然に関する中心的な施設として、設置目的「自然の生き立ちや郷土の豊かな自然環境に関する県民の理解を深め、併せて県民の文化活動を援助し、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する」に適合し、十分成果が得られている。 R5年度は、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに関係した企画展を開催したため、年間291千人の観覧者があった。 県民の自然史、環境への関心は高く、一般の方・自治体及び各種機関等からの問合せや他の博物館等への資料貸出等の要望も多く、当館に対する、県民からのニーズ、社会・時代ニーズも高い状況となっている。 また、当館が行っている県内全域を対象とする調査や研究は、市町村では困難であり、収蔵資料を適切に保管し、蓄積された研究成果を活用し、継続していくことは民間では困難である。 一方、開館から27年を経過し、建物の老朽化により設備改修等修繕コストが嵩んでいるが、年間20万人以上の観覧者があり、博物館としての役割は大きく、今後必要となる大規模修繕等を行ってもコストに見合う必要性があると考えます。 常設展、企画展及び各種教育普及事業に対するアンケート(R5)では、それぞれ100%、99%及び99%と高い評価を得ている。また、地元富岡市からも、もみじ平総合公園の中核施設及び地域文化の拠点として評価も高い。 仮に廃止した場合は、県民の郷土、自然に関する理解を促し、子供たちが自然に触れて学ぶ場を失うことになり、県民にとって多大な損失であり、県の施策実現にとっても重大な影響があると考えます。 当館は、社会教育施設として、県内外を含め子供から高齢者まで広く利用されており、また、観光面からも本県を代表する施設として来館者も多い。 今後も、群馬の自然とその成り立ちに関する調査、研究を基にした博物展示を行い、教育普及活動によって広く県民の自然史に対する理解を深める社会教育施設として、その役割は非常に大きく、今後も、県の施設として存続していく必要がある。
指定管理者制度	博物館の管理運営には、博物館としての根幹である学芸業務及び教育普及業務に高い専門性が要求され、人材の確保・育成が極めて重要となる。指定管理者制度となった場合、長期的視点から見た人材育成やノウハウの蓄積が困難になると危惧される。
業務等の見直し	管理運営コストについては、必要最小限の職員体制で多くの人に満足頂いている展示、事業であり、現在の運営コストは妥当であると考えます。また、光熱水費や諸経費が増加する中、各種のコスト削減に努力しており、常設展示・企画展示についても観覧者が満足できる展示を費用を抑えながら行っており、引き続き取り組んでいきたい。また、警備、監視、受付等の大きな費用を要する業務は既に外部に委託している。 利用者数については、現在、魅力的な企画展の開催、各種の教育普及事業の提供、あらゆる手段を用いた広報活動に取り組んでおり、増加を図りたい。 県民ニーズの把握と業務へのフィードバックについては、アンケート等を参考に、運営委員会での検討や内部・外部評価を実施し、展示や教育普及事業等について改善に取り組んでいる。 施設のPRIについては、新聞やテレビ等メディアへの情報発信に努め、メディアの取材対応件数も多い。また、県の動画情報発信サイトtsulunonへの動画の掲載及びHPやSNSを積極的に活用し、幅広い客層に向け、情報発信ができています。 当面は、現在の取り組みを継続し、類似施設等で、活用できる参考事例があれば取り入れていきたい。

施設運営に当たっての課題	・施設の老朽化 開館から27年が経過し、雨漏りや展示パネルの色あせなど発生。設備面では、来館者用エレベーター、非常用発電設備等が更新の時期に来ている。 ・収蔵庫スペースの不足 第一収蔵庫及び第二収蔵庫は満杯で、通路や棚の上にも置いている状態である。各種調査活動に伴い毎年増える証拠標本は、永年に渡り受け継がれる資料であるため、収蔵庫に保管していかななくてはならない。収蔵スペースに対して資料がオーバーフローしている。
--------------	---